

ニーズリサーチ委託事業

台湾ヒューメトリクス社製iCueスマートケアシステム



株式会社HI-SO (ハイソ)

<https://hi-so.co.jp/>



一般社団法人
持続可能で安心安全な社会をめざす
新エネルギー活用推進協議会
正会員

<https://jasfa.info/>

既存住宅流通活性化事業「住宅履歴情報」登録認定機関
登録住宅履歴情報蓄積システム【e家カルテ・エコノミー】
経済産業省「異分野連携新事業分野開拓計画」(新連携)取得【eビルカルテ・エコノミー】
農事が見える化(IoT)【アグリカルテ・アグリカルテビュー】
制御が見える化【遠隔WEB監視システム】

iCue スマートケア手伝い

- 5分間で簡単に設置できる
- マットレスの下に（高圧線の厚さよりエアマットレスにも適用）
- 4G WiFiで直接に繋がる
- 簡単に移動できる

より簡単に世話できる
 ストレスを最小限に
 リスクを最小限に
 コストを最小限に

ベッドにいる時の状態

- 離床
- 臥床
- 休憩

体の数値

- 呼吸率
- 体動率
- 心拍数

外接設備

- 血糖値
- 血中酸素
- 体温
- 血圧

クラウドに即時的に分析する
 情報を公開的に共有する

日/週/月のレポート
 24時間継続的に体の数値を記録する

大容量データを分析する道具
 実際のデータに基づく feedback

◆iCueスマートケアシステムの特徴

- ・非接触型センシング:
iCueは、マットレスの下に設置されたセンサーで、利用者の呼吸数、心拍数、体動、睡眠状況などを非接触で継続的にモニタリングする。
- ・リアルタイムモニタリング:
取得したデータはリアルタイムでクラウドに送信され、PCやスマートフォンで確認できる。
- ・アラート機能:
利用者の異常を検知すると、アラートを介護者や家族に通知する。
- ・データ分析:
蓄積されたデータをAIが分析し、利用者の健康状態や睡眠の質を評価する。
既存のベッドに対応：大掛かりな設備工事は不要で、既存のベッドに簡単に設置できる。
- ◆iCueのメリット
介護者の負担軽減：頻繁な巡回が不要になり、介護者の負担を軽減できる。
利用者の安全確保：異常の早期発見により、利用者の安全を確保できる。
ケアの質向上：客観的なデータに基づいた、より質の高いケアを提供できる。

◎ 3施設を対象に以下の日程で実施し、ヒアリングとアンケートを実施した。

施設/日程	設置/説明	フィードバック Web打合せ	最終レビュー
1.S施設	2025/1/8(水)	2025/2/5(水)	2025/2/21(金)
2.E施設	2025/1/9(木)	2025/1/23(木)	2025/2/20(木)
3.A施設	2025/1/9(木)	2025/2/3(月)	2025/2/20(木)



[アンケート分析結果] 実施:3施設（施設長、管理者、介護士、社会福祉士）計11名
 評価の総合点は比較的高く、特に「ベッド離床通知」や「睡眠分析」が高評価されており、人材不足の流れの中、iCue導入により、負担軽減と効率化が図れるものと予測できる。
 また、いくつかの課題と追加の機能の要望が明らかになったので、更なるバージョンアップが期待される。

[連携展開] (一社)JASFAのネットワークを活用すれば、自治体や企業との連携が可能となり、iCueシステムの普及促進・技術改善につながる可能性が高く、特にエネルギー効率化・在宅介護支援・自治体との協力の3つの視点で連携を模索すると、相互にメリットのある展開が可能になると考えられる。

(一社)JAFSA報告書(12/8)での【iCueスマートケアシステム】の紹介
 ヒューメトリクス社 副社長 林文彦(Wen-Yen Lin)氏 登壇
<https://jasfa.info/202412sendai>

◎全3施設で、設置、実施計測、フィードバックWEB打合せ、検証クローズ打合せを行った。

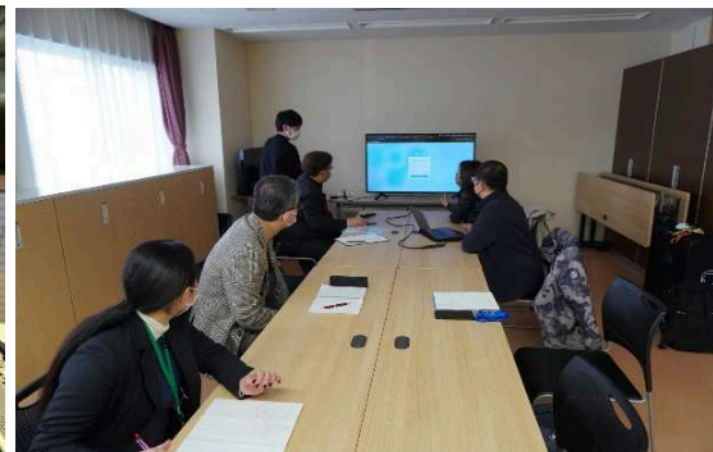
・設置作業



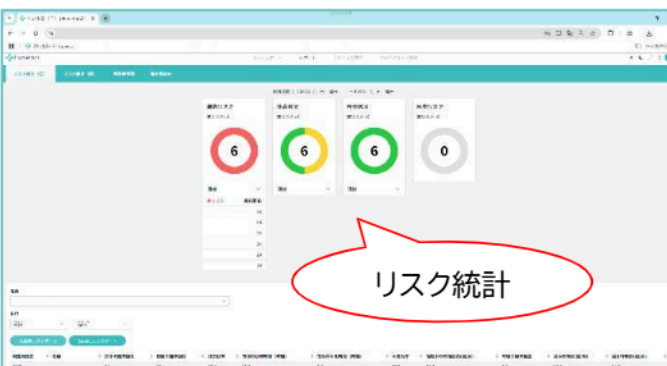
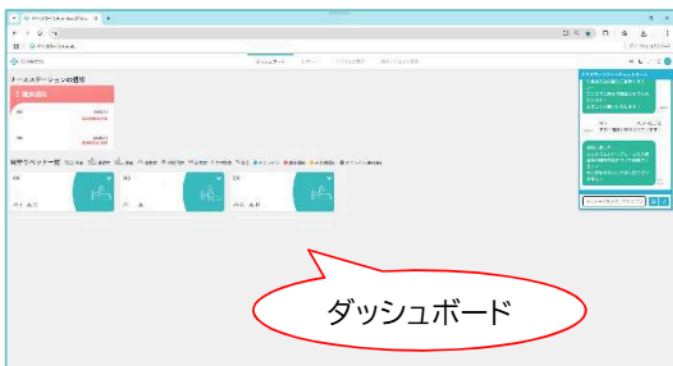
・WEB打合せ



・システム操作説明



・通知・分析(ブラウザ表示)



【まとめ】

- ・アンケート調査の方向性は適切であり、施設側からの生の声を明確に把握できている。
 - ・機能の過不足についても具体的な要望が確認でき、ヒューメトリクス社との協議の材料となるデータが得られた。
 - ・利用施設のネットワーク環境による1部通知遅延が見られ、課題が明確になり、技術的改善の方向性も見えた。
 - ・今回は期間が短く、アドバイス機能の有用性についての評価が不足しているため、今後の調査で補完が必要。
- アンケート結果を基にヒューメトリクス社へのフィードバックを行い、日本市場向けの最適化を進めることが重要なポイントである。

(株)HI-SOが「iCueスマートケアシステム」の拡販事業を進める上で、日本の介護施設のニーズに適したローカライズが必要です。また、施設向けの販売を強化する為に、(一社)JASFAとの連携を強化し、将来的に在宅市場にも展開できるようヒューメトリクス社との連携の準備を進めたいと思います。